

会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度第1回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和8年7月16日（木）午後3時から4時30分まで
3 開催場所	寺泊きんぱちの湯 2階
4 出席者名	【協議会委員】 池浦委員、大浦方委員、川上委員、菊池委員、小林委員 駒形委員、馬場委員、家後委員 【事務局】 江田教育部長、小林寺泊支所長 目黒科学博物館長、五井総括副主幹 池田寺泊水族博物館長、蝶名林技師 岸田博物館専門員、田中会計年度任用職員
5 欠席者名	椀澤委員
6 議題	(1) 正・副委員長の互選について (2) 令和7年度事業実施状況について (3) 令和8年度事業実施計画・状況について (4) 水族博物館整備事業の計画（概要）について
7 審議結果の概要	(1) 正・副委員長の互選について 事務局より報告 (2) 令和7年度事業実施状況について 事務局より報告 (3) 令和8年度事業実施計画・状況について 事務局より報告 (4) 水族博物館整備事業の計画（概要）について 事務局より報告

8 審議の内容	
委員	(1) 正・副委員長の互選について これまでの実績を踏まえ、大浦方委員を委員長に、小林委員を副委員長に推薦したい。
一同	異議なし。
事務局	委員長は大浦方委員、副委員長は小林委員に決定する。
事務局	(2) 令和7年度事業実施状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり
委員	水生生物探索会の「タツノオトシゴを探そう」は寺泊水族博物館脇の海で実施していると思うが、開始の時間と所要時間はどうか。またイベント名を決めた経緯を聞きたい。 また、ビーチコーミング・日本海体験は、前回の協議会で「イベント名から内容が分かりづらい」という意見があったと思うが、対策はしたのか。11月頃に実施するのはなぜか。
事務局	「タツノオトシゴを探そう」は、午前9時に集合し、概ね12時前後で終了となる。近くの波消しブロックにテープ状のアマモが生えており、そこにタツノオトシゴが生息していたので、寺泊水族博物館近くの海にタツノオトシゴが生息していることの認知度向上を目的に、当時の館長がタイトルを決定した。タツノオトシゴは数を減らしていることもあり、今年度からはイベント名を「寺泊の海の生き物を探そう」に変更した。 ビーチコーミング体験については、昨年度に「漂着物を探そう！ビーチコーミング」と変更して募集したが、参加人数は増えなかった。今年度は「探そう！貝殻、ヤシの実、ハリセンボン ビーチコーミング」という、何をするのか分かりやすく、どんなものが見つかるかが伝わるイベント名に変更し、集客を狙っていこうと考えている。開催を11月としているのは、台風等で海が荒れた後の方が漂着物が多くなると当時の館長の考えである。
委員	適切な開催時期等について、事務局内で検討して進めていってほしい。

委員	以前はタッチプールがあったが、今後実施する見込みはあるか。 他の水族館でサメに触れる展示があったが、寺泊水族博物館で常設展示として行うことはできないか。
事務局	屋外タッチプールについては、新型コロナウイルスの流行と、屋外のため気温の上昇による影響が大きく、生き物が飼育できない環境になってしまったことで終了した。他にも、生き物が外に放り出されたまま干からびて死んでしまったり、子どもが生き物を握りしめて走り回るような光景が年々多く見られるようになったことも、展示を終了した理由の1つである。 今後、生き物に触れる展示を行うのであれば館内となるが、展示場所と設備用の電源、手洗い場の確保が課題となる。館内のトイレは1階と3階にしかなく、慎重な検討が必要なため、すぐに再開するのは難しいが、生き物教育において貴重な機会となる展示であるため、いずれは再開したいと考えている。
委員	屋外の蛇口の近くで簡易的に期間限定で実施したりするのはどうか。
事務局	風が強くなった際にすぐ撤去できるような形式や、飛ばされないような対策など、天候変化に対応できるような仕組みを考えなければいけない。今までの屋外タッチプールとは違い、置き型水槽で実施することを考えると、予算を確保したうえで専用の水槽を制作する必要がある、難しいと思われる。
委員	学校としてはタッチプールについてどう考えているか。
委員	生活科や総合学習の時間に寺泊水族博物館を観覧し、喜んで帰ってくる姿をよく見かけるので、そういった触れ合える展示があればより喜ぶと思う。 先日全校浜活動で浜へ行ったが、意外にも泳げる児童が少なかった。海で遊ぶ経験が少ないということで、海を学びの場として教育活動を推進しているので、海に親しむとっかかりとして生き物に触れたり、経験、知識を深められるのが良いと思うので、そういうものがあれば良い。

委員	今回配布された資料に寺泊水族博物館のパンフレットが入っている。ウミガメやペンギンの形をしたパンフレットであり、通常の水族館の四角い三つ折りパンフレットに比べてよくできていると思う。 今日は長岡駅からバスに乗って寺泊水族博物館へ来た。長岡駅の観光案内所に寄ると寺泊観光協会のパンフレットが置いてあった。そこには寺泊水族博物館のクーポン券が付いており、こういったところでクーポン券を手にした方が使ってくれるといいなと思い、受付の女性に話をすると、寺泊は人気もあり、問い合わせも多いという。特に魚の市場通りが人気で、夏や1月にカニを買いに行く人が多いらしい。駅で話を聞くということは車で来ていないという可能性が高いが、寺泊までどうやって行くのか聞いてみると、土日であれば乗り放題のバスがあり、最近は観光バスの寺泊コースができたため、そういったものを利用する方が多いらしい。 そういった話をしている中で、寺泊水族博物館のパンフレットの話が出た。数が少ないため普段は出していないが、このパンフレットを出し、ラミネートした「割引クーポンございます」というシールを貼っておくと、問い合わせの数が激増し、逆に出していないと誰も聞いてこないらしい。例として「水族館があるんですね。クーポンがあるんですか。いただけますか」という問い合わせがあった際に、寺泊のパンフレットを渡している。これから夏になるので、入口の写真を明日から寺泊に変えると聞いた。駅の中でこうしたPRをされており、寺泊水族博物館のパンフレットをもっと配布したいけど数が足りないとも言っていた。予算の問題もあると思うが、こういった多くの人目に触れるところにてできるだけ観光資源を回して、多くの方に寺泊、寺泊水族博物館へ来てほしいと思った。
事務局	(2) 令和8年度事業実施計画・状況 (資料により説明) 主な意見は次のとおり。
委員	オリジナルグッズに欠品があるとのことだが、経営学上はよくないことである。コンビニのパンやおにぎりが売り切れでは、せっかくの購買者が買えないため、少し余るくらいが丁度いいという話がある。在庫を確保するのは、先にお金を払う必要があることから予算上難しいのか。

事務局	昨年度は「アクアリウムは踊らない」とのコラボイベントによる効果で、コラボグッズだけではなくオリジナルグッズも多く売れたので、補充が間に合わず一部商品の欠品が起きてしまった。
委員	これから夏休みに向かい、1年間で観覧者数が最も多い時期になる。お土産を欲しがる子どもも多いと思うため、早急に改善してもらいたい。
委員	3階のガチャが品切れになっていて気になった。こちらも夏休みに向けて補充してほしい。 大回遊槽にあるひまわりがあしらわれたフォトスポットがとても良かった。何回も写真を撮ったものの、魚のタイミングが合わずうまく撮れなかったが、それもまた楽しかった。しかし、なぜひまわりなのか。
事務局	元々はクリスマスリースとして作成したが、季節ごとに装いを変えながらフォトスポットとして常設することにした。
委員	孫を連れて来館するが、エレベーターを使わず3階まで登ろうとすると、階段が迷路のようになっていて孫が喜んで館内をぐるぐる回っている。先ほどのフォトスポットで毎回写真を撮ったりしているので、リピーターの獲得に効果があると思う。 また、駐車場が寂しいと感じる。門のあたりに何か飾るなどしてみたらどうか。モニュメントなどがあり、寺泊水族博物館があることをアピールできると良いと思う。
委員	以前あった看板は修理せずに撤去されたが、今後の展望はあるのか。建物があるため水族館ということは分かるが、何か目立つものが合ってもいいのではないか。
委員	隣のきんぱちにある蟹の絵がとても目立つので、寺泊水族博物館にも何か目を引くものがあればと思う。
委員	昔は水族博物館入口に目立つ看板があり、国道116号沿いにも看板があった。寺泊水族博物館をちゃんとアピールしていると思っていたが、最近は予算がないのか、前から知っていれば分かるが、初めて来る人

	には分かりづらくなった。 今日館内を観覧してきたが、地元で獲れるものがミズダコ以外にほとんど展示されておらず寂しく感じる。
委員	地元で獲れる魚は飼育が難しかったりするのか。
事務局	水温が合わず展示できていないものもいるが、展示しているものも数が少なかったり、魚名板を設置する場所がないことから、大きくアピールできずにいる。
委員	その魚たちは販売用のものをいただいているのか。それとも販売に適さないものをいただいているのか。
委員	いろいろである。前回も話したが、必要な魚があればぜひ連絡してほしい。どんな魚が必要なのか分からないので、リクエストをもらいたい。
委員	地域によって水族館それぞれの歴史がある。ピラルクやピラニアを見るのも良いが、ここの水槽は寺泊の海で獲れた魚なんですよというのが、地元の方にもアピールできる水槽が1つあった方が良い。その魚が魚の市場通りに行くと売っているなど、そういったものがないと、珍しいから行くとか、変わった形だから行くとかではなく、地元の魚という1つのテーマを今後は考えてほしい。
委員	魚を観るのも好きだが食べるのも好きであり、昨年か一昨年あたりからスーパーの鮮魚コーナーに寺泊産のシールが貼られるようになった。寺泊産の魚たちが豊洲などでいくらになるのかを考えるとわくわくする。 寺泊水族博物館単体ではなく、寺泊漁業協同組合や魚の市場通りとお互いが利益を得られるような、先ほどの地元の魚水槽のような施策ができれば良いと思う。
委員	展示スペースの問題もある。水深が深いところの魚を展示している水槽もあれば、磯のような浅いところの魚を展示している水槽もあり、展示できる水槽の数は限られている。

委員	獲れる魚も変わってきていると聞く。獲れなくなった魚や、今までいなかった魚を紹介することで、環境の変化について分かってもらえるのではないかな。 子どもは旅行に行くと、水族館などに行くことや、お土産を楽しみにしている。オリジナルグッズも好評ということで、やはりその場所ならではの、思わず手に取ってしまうような、例えばリクガメの足型をとった御朱印や、甲羅の形をしたクッションなどがあると良いと思う。
委員	力士ではないため手形とはいかないが、形をデザインしてスタンプにするなどのアイデアもあるかと思う。ウミガメの写真を撮って、それをデザインに生かしたお土産というのも、一つのアイデアとして検討してほしい。
委員	昨年の夏に魚の市場通りで飲食スペースが設けられ賑わっていたのを見かけたが、寺泊水族博物館 3 階展望室は座れるスペースがありロケーションも良いので、テーブルを設置して食事ができるようにしてはどうか。特に夏は暑いので、寺泊水族博物館で涼みながら魚を観て、買ってきた軽食などを食べられる場所があれば、もっと人を呼び込めるかなと思うがどうか。
事務局	館内は原則飲食禁止となっているため、難しい。食事の際に汚れた手で水槽を触られると痕が残ってしまうし、以前ペンギンプールにパンが投げ込まれたことがあった。ペンギンは食べないが、海鳥やカラスがそういった食べ物を狙ってやってくるので、その時はペンギンプールの水をすべて抜き、清掃を行ったこともあり、現在飲み物以外は禁止としている。
委員	先ほど話に出た御朱印について、冬期間中学生以下観覧料無料キャンペーンの際に期間限定で実施すると、毎年来る理由になりリピーター獲得につながると思う。 SNS での投稿によりお知らせが入るとうれしく思う。SNS の更新は大変だと思うが、年度ごとに 1 匹をピックアップして「今月の〇〇」のような生き物の様子を投稿するのはどうか。1 匹にクローズアップすることで、その生き物のファンを獲得できるかもしれない。

委員	6月27日に、ネィチャートーク「華麗なるクラゲの正体」がミライエ長岡で開催され、加茂水族館館長が講師として来られた。イベント前にリニューアルされた加茂水族館を訪れてきたが、本当に素晴らしい水族館だった。コロナ禍でいろいろな苦労がある中、新しい手法やSNSを活用しながら頑張っているという話があったので、いきなり加茂水族館と同じようなことはできないにしろ、寺泊水族博物館も新しいアイデアを発信していったほしい。
事務局	(3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について (資料により説明) 主な意見は次のとおり。
委員	空調の効きが良くないという話を聞いたが、現在はどうか。
事務局	建物自体が常に日に当たっているため、空調の効きは良くない。寺泊水族博物館では、地下のクーラーで冷やした水を館内に走らせ、冷えた配管で空気を冷やす間接冷房のような形式のため、設定温度を下げても、流れていく中で水の温度が上がってしまい、上階に行くほど空調の効が悪くなる。ペンギン広場の出入口にドアを閉めるよう注意書きを貼っているが、開けっ放しになっていて冷気が逃げることも一因である。
委員	改修することは難しいのか。
事務局	構造的な問題と設備的な問題がある。空間ごとに仕切られているような建物であれば効果的な対処ができるが、寺泊水族博物館内は大きな1つの空間となっており、設置している水槽ごとの温度管理も必要なため、全てをコントロールするのは難しい。
委員	去年は比較的涼しい夏だったが、これから夏本番となり来館者が建物に入ったけど暑いとなると魚以前の問題なため、できないことはできないとしても、室内の温度管理として何かできることはないか検討してほしい。 今回新しく就任された方がいるので簡単に説明すると、現在の寺泊水族博物館は今年で築43年となる。水族館というものは、来館者が見る部分はごく一部であり、バックヤードにはポンプやろ過器などがある。

事務局	る一種のプラントのようなものである。それを直し直し使うには限界がある。なので、必ずどこかのタイミングで建て替えなければいけない。私が本協議会に参加した際には建て替えの話が進んでいて、新水族館の構想についても話されていたと聞いているが、現状は大河津分水路の大きな工事の進行もあって、こちらの着地点が見いだせない、仮に寺泊水族博物館を建て替えるとしても、どこにどのタイミングで行うかの話につながらないというのが現状である。水族博物館整備事業の計画が議題に上がっているものの、今すぐ水族館を建て替えるということではなく、現状の寺泊水族博物館をいかに維持していくか、いかに予算をかけずにやっていくかという知恵を絞らなくてはならないため、今後とも皆さんにはそういった観点から協力していただきたい。 長岡市のホームページに過去の議事録が掲載されているので、関心のある委員は過去にどんな議論がされていたのかを知ることによって今後の参考になると思うのでご覧いただきたい。 委員の皆さんの発言から寺泊水族博物館を大切にしてくださっていることに感謝申し上げます。具体的なアイデアなどたくさん出していただいたので、建物の老朽化や構造、設備、予算など、さまざまなハードルがあるが、できることから工夫して取り組んでいきたい。 以上
9 会議資料	別添のとおり